

パッケージ導入と体制

(成功するプロジェクト)

内容

1. 業務横断による経営課題の解決
2. パッケージ導入とプロジェクト
3. プロジェクトとは
4. プロジェクトの特徴
5. プロジェクト組織の特徴
6. プロジェクト参加の意義
7. プロジェクトメンバーの仕事
8. プロジェクト体制の成功要因
9. パッケージ導入を成功させる条件

- ・ パッケージ導入には自社としてのプロジェクト体制が必要になります。
- ・ ベンダのプロジェクト体制とともに、この自社のプロジェクトの役割も大事です。
- ・ ここに書かれた内容を参考にして、プロジェクト体制・求められる仕事・メンバーの役割などを理解して頂ければと考えます。

1. 業務横断による経営課題の解決



全体最適による

- ・ 事業基盤の強化
- ・ 競争優位の確保
- ・ 業務課題の解決
- ・ 意志決定の迅速
- ・ 省力化の実現

情報技術の発展による

- ・ 情報基盤の強化
- ・ 取引環境の変化
- ・ 情報活用の促進

2. パッケージ導入とプロジェクト

業務横断による
経営課題の解決

情報技術の発展による
経営環境の変化

個人能力の発揮による
強い組織力の保持

情報システムによる
事業基盤の強化

プロジェクトによる経営・業務革新

 既存組織では

- ・組織の壁がある
- ・現状維持へのこだわりが強い
- ・改革、変化への抵抗がある

3. プロジェクトとは

・ 経営基盤の強化、競争力の向上、事業の拡張

・ (現状・将来)問題の発見、問題の解決

企業の事業目的を達成するための活動

- ・ 目的達成のために、必要な「人・物・金」を投入して一定の期間内に作業を完了させる。
- ・ そのために必要な作業・日程・費用を管理して、事業目的の成果と結果を出すことにある。

・ プロジェクト体制 / 情報共有 / 役割分担

・ 導入計画書の作成 / 基本手順

4. プロジェクトの特徴

- プロジェクト関係者にプロジェクトの特徴を徹底させることが必要です。プロジェクトは、全社的活動としての機会を生かした人材育成の場と捉えることもできます。

経営上、業務上の重要で早急な課題解決という目的がある

その目的を達成する「道のり」に不確定要素(リスク)がある

限られた資源(人・もの・予算)の下で、共同作業と役割分担がある

経験と事例がない(少ない)が、結果が全てである

開始時期と終了予定時期(稼動)が明らかである

必要な人材を必要な作業工程に集め、最終的に解散する

未知への挑戦であり、チャレンジ・ロマンがエンジンになる

困難を乗り越えることにより、今後の事業を支える人材が育つ

5. プロジェクト組織の特徴

	プロジェクト組織
目的	・新たに決められた目的、目標を達成するために活動する
手順	・目的、目標の達成のために必要な道筋・手順・計画を創り進める
ルール	・目的、目標を達成するために組織運営ルールを作り実施する
組織	・一時的組織(結成・解散) ・プロジェクト管理者の下にある
責任	・プロジェクト推進責任者
構成員	・必要な人材の集団 ・パートナー会社の存在
業務	・目的達成のための作業、業務 ・納期、品質を重視

6. プロジェクト参加の意義

- ・プロジェクト参加は、問題意識の育成が期待でき、
価値あるパッケージ導入が可能になります。

→ 自部門の代表でなく、会社から選抜されたという自覚が持てる。

→ 全社的判断、意見を求められるため自部門の代表という殻を破れる。

→ 他部門の活動・業務を知ることができ、参加者相互の認識が高まる。

→ 他部門への素朴な疑問を持ちやすくなり、改善・改革への糸口となる。

→ “井の中の蛙”から脱皮でき、全社的世間的な見方・考え方が広がる。

7. プロジェクトメンバーの仕事

メンバーの参加姿勢

チーム一員

自己学習

全社的視点

当事者意識

目標達成

= 業務改善 =

責任者の仕事

時間・工数の確保

集中期間の特定

トップの指示

作業目標の設定

権限委譲

8. プロジェクト体制の成功要因

パッケージ導入の成否を左右するプロジェクト体制の基準は以下のようなになる。

	要 因	成功	失敗
プロジェクト 推進責任者	<ul style="list-style-type: none">・ プロジェクトの目的・ 体制と権限委譲・ 意志決定	<ul style="list-style-type: none">・ 明確・ 充分・ 確実、即決	<ul style="list-style-type: none">・ 不明確・ 曖昧、不充分・ 遅い、曖昧
プロジェクト 実行責任者	<ul style="list-style-type: none">・ 意志決定(要件・仕様・他)・ メンバー統率力(計画・指示)・ メンバー支援(作業・結果)・ 問題解決の管理	<ul style="list-style-type: none">・ 確実、即決・ 強力・ 充分、適宜・ 提示強い	<ul style="list-style-type: none">・ 遅い、曖昧・ 弱い・ 不充分・ 提示弱い
プロジェクト メンバー	<ul style="list-style-type: none">・ 意志決定(要件・仕様・他)・ 業務知識、ノウハウ・ 改善志向・ 問題提起、解決策の提案・ 資料作成力・ コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none">・ 確実、即決・ 充分・ 有る・ 有る・ 有る・ 有る	<ul style="list-style-type: none">・ 遅い、曖昧・ 不充分・ 弱い・ 無い・ 不足・ 弱い

9. パッケージ導入を成功させる条件

経営者としての目的・期待効果が具体的である。

- ・ プロジェクトを全社的に公表している
- ・ 「情報システムは道具」であり、経営課題の解決である
- ・ 社内コンセンサスが出来ている

プロジェクト体制が明確で、組織としてオープンにしている。

- ・ 責任の所在と役割分担がはっきりしている
- ・ システム利用者までの参画意識を考慮している
- ・ 他力本願でなく、自分で創るという行動になっている

スケジュール管理と成果物作成が実行できる。

- ・ 必要な作業スケジュールを守って成果物を作る
- ・ 処理内容に関して、理解と判断が的確にできる

「情報システムは道具」を理解し、業務改善が行える。

- ・ 業務/作業の改善への意見を吸収し活用できる
- ・ パートナー会社の力を最大限に利用する